

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『学校にひそむきみんもんつき』とみなが まい／作

・小学校にひそんでいる「きみんもんつき」。妖怪ほどこわくはなくて、妖精ほどかわいくはない。小学生の持ち物を愛するあまり、時々持ち主を困らせてしまう。「けしゴムこぞう」など、いろいろな「きみんもんつき」を紹介する。(3～5、小初)



『うちのおじょうさん』くまくら 珠美／作

・おそとで生まれたこねこはご縁があって、うちのおじょうさんになりました。くいしんぼうでおこりんぼう、あまえんぼうでいたずらさん。人間のことばだって話せます…。愛しいうちのおじょうさんとの毎日を描いた絵本。(小初)



『おにのやくそく』やまだ ともこ／作

・ぼくは、かいと。ある日突然、鬼のまたべえがぼくの家にあそびにきた。トラップで負けたぼくは、またべえが頭から引っこ抜いて置いていった角をみがくことになったけれど、約束をやぶってしまい…。(小初)



『ともだちはやまんば』みとみ とみ／作

・昔から知られているおばけを今の時代にアレンジしたお話と、作者のオリジナルのお話の、2つのおばけ話を楽しめる本。「ともだちはやまんば」「トンネルぬけたら」を収録する。(小初)



『まてまて、ごめん。』渡辺 朋／作

・ハルの絵を破ってしまったそうた。すなおにあやまれなくて、「ごめん。」と手紙を書いたら、なんと「ごめん。」の文字が逃げ出した! そうたの「ごめん。」は、商店街へと逃げていき…!?(小初)



『呪われたケータイ』あみ／作 他

・知らない番号から届くメッセージ、画像フォルダにある覚えのない写真、亡くなった“あの人”の音が流れるスマホ…。怪談師、怪談作家など5人の著者による、電話にまつわる不思議な話を収録。(小中)



『海水浴場のゆうれい ナツカのおばけ事件簿 20』齊藤 洋／作

・ナツカとパパは、海水浴場に幽霊が現れて困っているという海の家組合の理事長から依頼をされて調査を開始。ところが、その幽霊は理事長のお兄さんらしくて…。ナツカのおばけ事件簿シリーズ第20弾。(小中)



『アニーとリッチー』 マージョリー・ワインマン・シャーマット／作

・アニーの飼い犬・フリッツがいなくなった。アニーに片思い中のリッチーは、動物保護施設で見つけたフリッツそっくりな犬を連れてきて…。クールなアニーと、お調子者のリッチー、ふたりの日記ですすむ物語。(小中)



『どろぼう猫の宇宙会議』 小手鞠 るい／作

・京都で猫の国際会議がはじまった。世界中から集まった猫たちは、「大好きな人間たちのために、どろぼう猫ができることはなにか?」を話しあい…。『どろぼう猫』シリーズ第5弾。(小中、小上)



『窓のまどかさん』 戸森 しるこ／作

・体育館の戸締りをしているとき、壁の下の方にある小さな窓が開いていることに気が付いた真凜。閉めようとしたら、「閉めないで!」と大きな声が聞こえて…!? 心がピカピカになるユーモア童話。(小中、小上)



『マユ12歳、鍛冶屋でくらしています。』 福田 隆浩／著

・学校へ行けなくなってしまったマユ。環境を変えるためにやってきた、山あいの鍛冶工場で出会ったのは…。『学校の中』だけが世界じゃない! 学校へ行かないことを選択した12歳のマユが新たな世界を見つける物語。(小上)



『ゴーストライン 海に刻まれた道』 カチャ・ベーレン／作

・少年をつなぎとめようと、たいへんな約束をした少女。ふたりの冒険のゆくえは? 一見明るく活発な少女の胸にひそむ苦しみや悲しさ、罪の意識をこまやかに綴るとともに、命の危険をはらんだ大冒険を描いた、夏の終わりの物語。(小上)



『黒魔術師ガブリエラ 復讐の代償』 長谷川 まりる／作

・どこの町にもある小さな酒場のステージに立つ奇術師。人生の悪夢を見るひとに手を差し伸べるその男は…。とかく思い通りにならないこの世の中で、欲にまみれた望みを抱くことが罪か、叶えるのが悪か? ダークファンタジー。(小上、中)



『幕末の宙 白狐魔記 8』 齊藤 洋／作

・人間に化けることができるようになった狐・白狐魔丸は、やがて大老となる井伊直弼と、異才の学者・吉田松陰という、異なる立場で世をめざめさせようとするふたりに出会い…。(小上、中)



『エイダンをさがして』 デイヴィッド・レヴィサン／作

・ある日、エイダンがいなくなった。6日目の夜、弟のルーカスは屋根裏部屋でエイダンを見つけるが、兄は、ようふくだんすを通して別世界へ行っていたという。ルーカスはその言葉を信じられなくて…。(小上、中)

